2025 年度環境保全報告書　　関西エアポート神戸株式会社

①　2025 年度の環境保全活動の実施状況･結果

関西エアポート神戸株式会社では環境負荷低減に向けて以下の 3 つの方針を設定しており、それぞれの方針のもとに取り組みの指標となる具体的な項目と目標、施策を定めています。2025 年度の結果は以下のとおりとなっております。

	方針	項目・目標	実施状況・結果
1	脱炭素	BEMS を用いたエネルギー分析（継続）	空調運転状況の分析を行い、最適化を実施
2		温湿度センサを用いたビル内温湿度管理	温湿度管理システムを使用し、温湿度のリアルタイム計測を実施
3		貨物ターミナルビルの照明 LED 化	貸室の照明 LED 化を実施
4		ペロブスカイトの実証実験	機器を設置し実証実験を開始
5	循環経済	直営店舗で使用する備品の環境に配慮した製品の使用（継続）	使い捨てプラスチック使用の削減 ショッピングバッグの有料化
6		SAF 利用における廃食用油回収の働きかけ（継続）	ターミナルビル内における 廃食用油の回収
7	環境共生	航空機騒音の監視（継続）	航空機騒音監視の実施
8		トイレ洗浄水・手洗い設備の水量調整等による節水（継続）	基準を定め、全箇所調整を実施
9		消防車の放水訓練での中水利用による上水使用量削減	消防車の放水訓練にて中水を利用

新規取り組みとして、以下内容を実施した。

脱炭素の取り組みとして、LED 化の推進を行い、貨物ターミナルビルの貸室における照明 LED 化を実施した。また、神戸市、積水化学工業株式会社と連携し、制限区域内にてペロブスカイト太陽電池の実証実験を開始した。

環境共生の取り組みとして、消防車の放水訓練において、中水を利用することで上水使用量の削減を行った。

また、環境マネジメントの取り組みとして、ACA（Airport Carbon Accreditation）Level 4 を維持し､空港関連事業者と連携するために KOBE エアポート環境推進協議会を開催した。